

おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2018. 9. 25 No. 2

運動会を支えた家庭・地域

気のせいかな、ここ数年、雨の影響を受けることの多い運動会・体育祭。今年も例外ではありませんでした。芝生の運動場は一度降られるとなかなか乾かず、各校とも苦労されたようです。そんな中で、地域の皆さんによるサポートは学校にとって大きな力になりました。

【上道小学校(9/16)】



上道は「ラジオ体操のふるさと」



みんなで一緒にイチ、ニ、サン！



笑顔いっぱい！1年生とお年寄り

【境小学校(9/15)】



雨で1時間遅れて再び土砂降り



みんなで協働した「あかし」



献身的な活動にただ感謝！

【第一中学校(9/11)】

雨で平日開催になったにもかかわらず、大変な盛り上がりで、休日とあまり変わらない数の方が来られたと聞きました。きびきび動く中学生と生徒以上に燃え上がる先生方に見入ってしまい、写真を撮るのを忘れました。申し訳ありません。

廊下や階段には、演武などを通して感じた思いを上級生から下級生へ、下級生から上級生へと伝えるメッセージが貼り出されています。また「繋ぐ」(つなぐ)をテーマに全校集会も開かれ、体育祭での学びを今後の生活に生かそうと誓い合ったとのこと。高めあう心が育っています。

上道地区敬老会で「皇の松音頭」

4年生が地域のお年寄りの指導を受けて、伝統の「皇の松音頭」を踊りました。歌詞を見ると、「①心ふれあう 夢よぶ②情があふれる豊かな③皆が集まる 楽しいまちおこし」の願いを込めたものだとわかります。

音頭が誕生したのは平成13年。この地域にも大きな爪痕を残した鳥取西部地震と時期が重なります。感慨深い所です。

(写真は練習風景)

